

新
連載

我がクラブの人気プログラム③

スポーツGOMI拾い&ブラインドサッカー ～ NPO法人 北九州スポーツクラブACE ～

◆◆◆◆◆スポーツGOMI拾い◆◆◆◆◆

1 プログラム概要

- 実施頻度：年間4回(スケジュールによる)
- 場 所：市内外各地
- 参加者層：乳幼児～高齢者までどなたでも
- 定 員：1大会約200名(大会規模による)
- 参 加 料：無料
- 経 費：事業提案型補助金やスポンサー収入による運営
- 運 営：1大会ディレクター2名/スタッフ40名(大会規模による)

2 清掃活動を通してスポーツの醍醐味を実感

スポーツGOMI拾いは、ゴミ拾いにスポーツのエッセンスを加えて、従来までの清掃活動を「競技」に変換させた「スポーツ史上最も環境に優しく、環境貢献活動史上最もエキサイティング」なものです。決められたエリアで、制限時間内にチーム(5名以内1チーム)で拾い集めたゴミの量と質を競う競技であるため、スポーツの楽しさ・面白さを実感でき、独立行政法人国立環境研究所との共同研究結果において高い環境教育効果も実証されています。

◇ルール(*一部抜粋)

- 1チーム5名以内での参加(男女・年齢制限なし)
- 各チームに1名の審判員が同行し安全を確保(大会による)
- チームの先頭と最後尾は10m以内の距離を保つ
- 競技エリア内では走らない(公園等は例外)
- 指定されたゴミ袋、分別方法を守る
- スポーツマンシップに則る

3 スポーツGOMI拾いが市や企業との懸け橋となる

北九州スポーツクラブACE(以下、クラブ)の会員さんや地域、企業、行政を巻き込んで楽しいイベント実施を模索した際に、「スポーツGOMI拾い」の存在を知りました。資金確保のため「北九州市 市民活動団体等による環境未来都市推進支援事業」に事業提案し、平成24年から2年にわたり3,450,000円を獲得しました。その結果、行政との協働事業としての実施となり、2年間で総勢1,473名、1トン106kgものゴミを収集することができました。平成26年度以降は、各地での開催や企業とのコラボ等により継続した大会開催ができています。また、その時の経験により、必要な活動資金を自分たちで提案して取得するための企画力やプレゼンテーション能力を身につけることができ、その後の他の事業においても大きな力となっています。

4 市のクリーンサポート事業の一環として

スポーツGOMI拾いには、参加チームに帯同する審判が必要になるため、チーム数に合ったスタッフの確保が重要です。クラブでは、過去大会に参加した方や地元大学生に審判講習を受けてもらい、登録をお願いする仕組みづくりをしています。他にも、集めたゴミ処理を適切に行うため、行政の協力も不可欠です。クラブでは事業のスタートが市との協働事業であったこともあり、市の「クリーンサポート事業」の一環として、用具の貸し出しや袋の提供、ゴミ収集までご協力をいただいています。

5 参加者からのうれしい声。さらなる発展を目指す

過去3年間で16大会開催し、計2,043名の方にご参加いただきました。アンケート結果から参加者の声をご紹介します。

「市政だよりを見て興味を持って参加しましたが、とても良かったです。1時間一生懸命歩いたので疲れ切りました。次回は、会社の同僚と参加したいです」(40代・男性)

「私たちの町は、ゴミがないと思っていたのにたくさんあってびっくりしました。友達と一緒に新しい発見ができました」(小学生・女子)

「たくさんのゴミに気付けてよかったです。あっという間に時間がたち、汗だくになれたし、本気になれました。今後も継続して大会を開催してほしいです」(70代・男性)

「お祭りに遊びに来たのに子どもは帰りもゴミを探して帰りました。屋台には見向きもせず…。私自身、出産後こんなに歩いたことはなかったので、いい運動になりました」(30代・女性)

今後は事業継続のための新しいネットワークの構築を目指しています。現在、民間企業とのコラボ大会も進めており、さらなる発展のある事業展開をしていきます。



子どもたちからは「新しい発見ができました」との声が…



掛け声も勇ましく、いざ「スポーツGOMI拾い」へ

◆◆◆ブラインドサッカー◆◆◆

1 プログラム概要

- 実施頻度：月2回(ブラインドサッカー1回/アダプテッドスポーツ[※]1回)
- 場 所：福岡県立視覚特別支援学校体育館 他
- 参加者層：小学生～大人までどなたでも(健常者・障がい者問わず)
- 定 員：30名程度
- 参 加 料：無料
- 経 費：事業提案型補助金やスポンサー収入等
- 運 営：クラブ3名/ギラヴァンツ北九州3名

※アダプテッドスポーツとは…障がい者や高齢者、子どもあるいは女性等が参加できるように修正あるいは新たに作られた運動やレクリエーション全般

2 ブラインドサッカーとは？

ブラインドサッカーは、視覚障がい者のために開発されたサッカーです。正式名称は「視覚障がい者サッカー」または「視覚障がい者5人制サッカー」と言います。ルールはフットサルとほぼ同じで、B1(全盲)とB2/B3(弱視)の2つのクラスに分かれます。B1クラスでは、視力差による不公平が生じないように4人のフィールドプレイヤー全員がアイマスクを着用し、鈴の入った音の出るボールを使用します。ゴールキーパー、コーチ、コーラー[※]の3人は晴眼者または弱視者が務め、フィールドプレイヤーに対して声で指示を出します。B2/B3クラスでは、アイマスクや音の鳴るボールを使用せず、フットサルのルールに基づいてプレイします。B1～3は国際視覚障がい者スポーツ協会(IBSA)が定めた視覚障がいの程度によるクラス分けで、B2とB3の選手は混在して試合を行います。また、国内大会の場合はB1、B2/B3クラスとも、晴眼者もフィールドプレイヤーとして出場することができます。

※コーラーとは、ゴール裏から選手たちにゴールの位置を伝えるガイド役

3 2020年東京パラリンピックへ代表選手派遣を目指す

クラブでは、今年度からアダプテッドスポーツにも力を入れて取り組んでいます。取り組みのシンボリック的存在として、九州で2番目となる「ブラインドサッカー」チームをJリーグ(現在J2)所属のギラヴァンツ北九州と連携し立ち上げます。

また、この事業ではクラブの拠点地域にある「福岡県立北九州視覚特別支援学校」とも連携して「ブラインドサッカー」のみならずアダプテッドスポーツ普及と振興に取り組むものとしており、来たる2020年東京パラリンピックへ代表選手を派遣することを目標に事業を展開します。

4 「する」「みる」「支える」を軸にネットワークづくりを推進

以前からクラブでは、上村理事長が障がい者スポーツ指導員中級を取得するなどアダプテッドスポーツの普及振興に取り組んでいました。そんな中、九州で唯一だったブラインドサッカーチーム「ラッキーストライカーズ福岡」との出会いをきっかけに九州で2番目のチームを立ち上げていくこととなりました。

ブラインドサッカーは、実は健常者の支援が不可欠です。コーラーやゴールマウスを守るキーパーは晴眼者のため、すべての人が関わることでできるスポーツとなっています。現在、選手の募集はもちろんのこと、チームの立ち上げに係り、ブラインドサッカーを「する」「みる」「支える」皆さんとのネットワークづくりに取り組んでいます。

5 より一層の認知度アップを目指し、体験会を開催

今年度は「体験会」として、ギラヴァンツ北九州から指導者を招き、北九州視覚特別支援学校の生徒20～30人を対象に、月1回、ブラインドサッカーを経験していただく活動を行ったり、視覚特別支援学校の生徒だけでなく、地域の方々まで幅広い参加者を集めてアダプテッドスポーツを行っています。そして、いよいよ来年度の「チーム」発足元年に向けて、資金調達や広報など、準備を進めていくことにしています。
(事務局長／多田向陽)



ブラインドサッカーは健常者の支援が不可欠



ゴール裏からはコーラーの指示の声が飛ぶ

クラブプロフィール

●クラブ概要

“スポーツは楽しく！”をモットーに、様々な目的を持った多職種・多世代の人たちが集うクラブを目指して平成20年に設立しました。設立当初は、行政からの依頼で活動拠点が決定したこともあり、地域との接点が少なく理解や協力を得ることが困難でした。しかし現在では、クラブ広報誌が地域に全戸配布され、上村英樹理事長が地域自治活動での役員を務めるなど太いパイプを築いています。また、平成26年には「一般社団法人社会的認証開発推進機構」による「信頼性があり公益性が高いNPO」としての社会的認証システム『ステップ3』を認証しています。

- 設立年月日：平成20年4月20日
- 所在地：福岡県北九州市八幡東区
- 運営：会員数274名(平成27年7月末現在)、予算規模30,182,000円(平成27年度)

特徴：総合型スポーツクラブ運営、ヘルスライフサポート、スポーツプロモーションを事業の軸に、アダプテッドスポーツや社会貢献事業など、NPOとしてスポーツを用いた地域貢献活動にも力を入れて取り組んでいます。

連絡先：〒805-0013 福岡県北九州市八幡東区昭和1丁目1番5号
TEL：093-863-6010 FAX：093-863-6012
Eメール：staff@ace-sports.jp
ホームページ：<http://www.ace-sports.jp/>